



BUSINESS VISION

BUREAU
VERITAS

BUREAU VERITAS JAPAN NEWSLETTER



■ 産業事業本部

Case Study: エッソの Fawley 製油所 - 騒音の管理・低減計画を策定(英国)

ビジネスチャレンジ

- 製油所の操業を継続する上で必要となった、新たな環境上の許可を取得する
- 騒音低減計画を策定する

エクソンモービル/エッソ

世界最大の石油・ガス企業
2008 年度純利益€450 億

英国最大、かつ欧州全体でも最大クラスの規模を持つエッソの Fawley(フォーリー)製油所では、毎年 2,000 隻の船が往来し、原油の年間取り扱ひ量は 2,200 百万トンに上ります。

近年の法律制定に伴い、Fawley 製油所は操業を継続する上で、IPPC(the Integrated Pollution Prevention and Control directive: 統合的汚染防止管理指令)に基づく新たな環境上の許可を取得する必要に迫られました。この許可制度は欧州全域に適用されます。

都市騒音低減の取り組みの一環として、エッソはビューローベリタスに、許可取得の要求事項となる「長期的な騒音低減計画の策定」を目的とした、詳細調査と騒音モデル活用の実施を依頼しました。

ソリューション

- ビューローベリタスが実施した事前調査に基づく音響モデルを構築する
- 測定を新たに実施し、同音響モデルを改善する

ビューローベリタスは、製油所での先行プロジェクトにおいて、環境騒音排出の最大の原因となっていた区域を



既に特定していました。

次なるステップは音響モデルの解像度向上で、これは区域単位での排出に対して、個々の設備・機器類からの排出を勘案する上で必要な手順でした。

各区域の設備・機器類における詳細な測定を経てノイズモデリング段階へと進み、それらの結果はビューローベリタスの実践的技術知見と共に、正式な騒音低減計画の提案を準備するために用いられました。

企業にとってのメリット

- ビューローベリタスによる効率的なアプローチにより、プロジェクト期間が短縮化
- 騒音低減計画を通じて、エッソの騒音低減への取り組みを可視化



BUSINESS VISION

BUREAU
VERITAS

BUREAU VERITAS JAPAN NEWSLETTER




プロジェクトにおけるビューローベリタスのリスクに基づく段階的アプローチを通じて、エツソは製油所全体を詳細に調査することなく、詳細調査及び騒音軽減の対象となるハイリスクな設備・機器類を、効率的に絞り込むことができました。

こうして完成した騒音低減計画は、IPPC に基づいて騒音管理・低減に対する取り組みを行うエツソの責任ある企業姿勢を、地域社会に示すこととなりました。

社員のコメント

「ビューローベリタスは、エツソが将来を見据えて持続可能な方法で Fawley 製油所を操業していくための支援を提供しています。」

ビューローベリタス プロジェクト・マネージャー Simon Stephenson

 Bureau Veritas Group ホームページ掲載の記事は[こちら](#)(英)

 [ビューローベリタスのエネルギー & プロセス関連業務](#)